



2026年 あけましておめでとうございます。
本年もよろしくお願ひいたします。

市民のいのちと健康、くらしを守る施策の充実求めて

昨年7月の参議院選挙で、一昨年の衆院選に続き、国民の審判で自民・公明政権を過半数割れに追い込むことができたことは、日本の政治にとって前向きの変化でした。日本共産党は、比例2議席確保、吉良よし子氏の3議席となりました。市民と野党の共闘の新たな発展を目指して、全国17の1人区で候補者を一本化し、12の1人区で勝利をかちとり、沖縄選挙区で「オール沖縄」の議席を守り抜くことができました。

高市政権発足後初めての臨時国会では、自民・維新の与党と、国民民主党、公明党などの賛成で成立した2025年度補正予算は、物価高や消費税減税、企業・団体献金禁止、コメの増産など国民が求めることに背を向け、米国いりに過去最大の軍事費を盛り込みました。

一方で、自民維新がごり押ししようとした衆院議員定数削減法案を継続審議に追い込み、2026年4月から公立小学校の給食費無償化が国の全額負担で実施されることは、国民が力を合わせれば政治を変えることができるることを示しています。

日本共産党一宮市議団は、市民のいのちと健康、くらしを守る施策の充実求めて市へ要望した2026年度予算要望書の実現に向け、市民のみなさんと力を合わせていきます。



日本共産党市議会議員
ひこさか和子



日本共産党市議会議員
わたなべ さとし

◆衆議院議員 もとむら伸子 差別をあおり、平和憲法を踏みにじる勢力に勝利する年に



2026年、真っ暗闇の高市自民維新政治のもとでも希望の光が見える年にしたい！

学生さんから「ベースは絶望」そんなお声を聞きました。

みんなが苦しんでいる根本的な原因は何かをみてみれば、大企業の労働分配率3割台！大企業は28%から23.2%へと減税？！裏金含む大企業からの献金を受け取り、大企業の利益を最大化するために働き、アメリカ言いなりの大軍拡に湯水のように税金を注ぎ込む自民党を中心とした政治の問題があります。

徹底的に皆様の要求を聞き、要求を実現する方法があることを示し、一歩でも二歩でも実現のために国会で論戦し、差別をあおり、平和憲法を踏みにじる勢力に勝利する年にしていく決意です。

◆党愛知県委員会書記長 かわえ明美 オール与党の愛知県議会で県民のくらしを守る政治へ

オール与党の愛知県議会で県民のくらしを守る政治へと転換めざし、みなさまと対話を広げてきました。県民のくらしには、目を向げず、大企業奉仕ばかりの愛知県政。なんとしても変えなければと思いを強くしています。

102人の県会議員がいるなかで共産党県議は豊橋市選出のしもおく奈歩さん1人だけ。たった1人の共産党県議が政治を動かしています。県立高校体育館へのエアコン設置や生理用品を高校トイレに設置、県に学校給食費の2分の1補助を求めつつ、国にも無償化実現を訴え、とうとう国は、4月から小学校給食の無償化にふみだします。県民のこえにもとづく運動と議会での論戦が実を結んでいます。

しかし、1人では足りません。私も、今年1年、馬のように駆けまわり、こえを聞き、こえを運動に、みなさんとつながってがんばります。今年もよろしくお願いします



衆議院議員・弁護士 藤原のりまさ

高市政権と真っ向から対峙できるのは
市民と野党の共闘だけ

市民と野党の共闘で国会に送っていただいた1年が経ちました。国会を取り巻く状況は2024年10月の総選挙の時よりも格段に深刻です。特に高市政権の「開き直りの政治」が幅を利かせ、立憲主義や平和主義、人権の危機が現実化しています。野党第一党を含めて右傾化するなか、日本共産党さんとの共闘が今ほど重要な時代はないと感じています。隣国を挑発し、非核三原則まで蔑にしようとする高市政権と真っ向から対峙できるのは市民と野党の共闘だけだと矜持をもつて、2年目も奔走します。本気の共闘を今年もよろしくお願い申し上げます。



県政レポート かわえ明美

戦争拠点に協力する愛知でなく、
市民の暮らしを守る政治を！

「うちでとれた白菜持っていって」「大根いるか？」。やわらかく質のよい畑の土で育った野菜はほんとうに立派。木曽川がもたらした肥沃な土地のめぐみに感動です。この自然のめぐみは、ただ、恩恵を受けてきただけではなく、災害をものりこえてのめぐみであろうと察するならば先人たちの苦労に思いをはせるばかりです。一宮の農業も繊維産業もこの豊かなめぐみがあったからこそ。

いま、国は、「国際競争力の強化」「国際戦略」だといって、一宮市を「アジアNo.1の航空宇宙産業の地」にと「特区」に位置付けています。国と県がすすめる名岐道路はその一環です。各務原の川崎重工から航空機・戦闘機の部品を遅滞なく運ぶルートの整備が目的であり、「名岐道路整備により最短距離の高速道路ネットワークが構築」と言っています。名古屋港まで運び、海上輸送で中部空港まで運び、空港から米国へと向かう流れを説明しています。折しも、11月、愛知県は、国の意向を受けて、三河港を自衛隊や海上保安庁が港湾・空港を円滑に利用できる「特定利用港湾」に指定することを同意しました。名古屋港も名古屋港管理組合が同様に受け入れることを表明。自民党と維新の会は殺傷兵器も全面輸出できるよう議論を始めています。戦争する国づくりへとひた走る高市政権、一宮市を戦争に向かう拠点にさせるわけにはいきません。

一宮市の豊かなめぐみを生かし、市民の暮らしを守る再生の戦略こそ必要ではないでしょうか。

《部品製造～組み立て～空輸までの流れ》



平和な日本を、つなぐ街宣

12月28日（日）13:00～

尾張一宮駅東口

弁士

日本共産党参議院議員

立憲民主党衆議院議員

日本共産党愛知県委員会書記長

社会民主党愛知県連合副代表

れいわ新選組参議院愛知県総支部長

緑の党共同代表

新社会党愛知県本部代表

YouTube
配信こちら



小池晃
藤原のりまさ
かわえ明美
つかざきみお
辻恵
尾形慶子
保田泉